

元気で長生き応援団

よっせ



第 148号 2016年 7月 13日 (水)

発行

NPOライフケア浜松 ☎ 053-426-0691

浜松市南区恩地町 263

(株)LCウェルネス

デイホーム・ここ倶楽部 ☎ 053-427-3244

浜松市南区恩地町 263

ここ倶楽部 朝市

7月13日(水) 9:30~

- ・採れたて新鮮野菜
- ・花・野菜の苗
- ・ぬか漬け
- ・各種の美味しいお総菜

お誘い合わせて、ぜひおいで下さい

過去の夢いま一度？
八百万点？

歴史の考え方の一つに「辺境理論」あるいは「辺境変革論」というのがあります。文化・文明の中心となる地域は時代によって移ります。辺境(辺鄙な田舎)だったところが次には中心になる、というのです。

エジプト、メソポタミア(今のイラン・イラクあたり)は古代のある時は世界の最も先進的な文明中心地でした。そのころ辺境だったギリシャが次の時代の中心になる。その辺境だったローマが次の時代の先進国になる・・・というわけです。そして、かつての中心

地は再び中心に振り返ることがないのです。

西ヨーロッパの辺境だったイギリスが、世界の最先端を行く中心地になったのは、十九世紀、大英帝国として、七つの海を支配しました。膨大な植民地を支配し、世界中から富を略奪して、繁栄しました。



ロンドンにある大英博物館は象徴的です。ここには古今東西の美術品、遺物がなんと八百万点収蔵されている、といいます。エジプト、インド、ギリシャ、ローマなどの遺跡、遺物が大量にあるそうです。私が行ったことがありません。「泥棒博物館」「強盗博物館」と呼ぶこともあるそうです。二十世紀の二度の世界大戦を経て、人類は平和を強く望むようになり、「世界連邦」として、国境を取り払い、世界中が一つの国になろう、とい

う理想主義的な考えが広がります。EUはそういう流れの中で成立したと言えるでしょう。

かつての世界覇者の地位から転落したイギリスもEUの仲間になりました。そして今、貧しい国からの移民の流入に反対し、(もちろんそれだけの理由ではないでしょうが) EUから離脱しました。自国の繁栄の時は二度と来ないのに。

離脱を選択した人が高年齢になるほど多かったというニュースに驚き、落胆しました。他国民を犠牲にして繁栄してきた自国の歴史を、よく知っている人たちだろうに、という意味で、落胆しました。

日本では選挙権が十八歳に引き下げられました。が、そのうち、何歳以上は選挙権を返上しよう、なんてことにはならないでしょうね。高齢者よ、知恵や良識を失わないように留意しましょう。自戒を込めて。

世界の覇者であったこ

ろのイギリス人が持つていたであろう賢さ、誇りを今



のイギリス人は失っているように思います。

さて、日本はどうでしょう。悲惨な戦争を二度と起こさない、という決意、覚悟で戦後の歴史をスタートさせた日本。もはや戦後ではない、そして非戦の決意も終わった、というのでしょうか。

選挙と代議士

都知事選挙、さてどう判断したらいいのでしょうか？私らは関係ないので、高みの見物というわけですが、いずれはなんらかの選挙に関わるのですから、興味深く見守りましょう。

政治家さん

たちも若いころは、正義感に燃え、純粹



な心の持ち主だったのでしよう。その清潔さを維持するのは難しいのでしようね。私も、周囲に甘

い汁がイツパイ吸える環境だったら、墮落していくでしょうね。

今から百三十年ほど前明治時代に書かれた文章を紹介します。

『候補者が選挙民の一時の投票を獲得するために、甘い言葉(実行するつもりのない空公約)を並べ、ペコペコ頭を下げて選挙民の心を買ひ、ひとたび当選すれば横着にかまえ威張りちらし、自分勝手なことを行って、選挙民をゆきずりの人同然に見下す。・・・もはや国会は国の世論を代表するものではない。こういう代議士は選挙人の懐中から孵化した毒蛇である。』(中江兆民著、「選挙に目ざまし」)

激しい文章です。的確に問題点を突いています。百三十年経って、どれくらい選挙人の目は覚めているか、代議士は、政治家は、自分のためではなく、国民のために仕事をしているか。ちと心もとない、恥ずかしい気がします。

◆6月3日 大正生まれの65歳
今日はUさんのお誕生日。皆さんに歳を聞かれると「またあとで教えてあげる」。午後の誕生会、皆さんに歳を聞かれ「大正生まれの65歳です！」大正生まれで65歳??と真剣に考えていると「嘘だよ！でも皆にはそう言ってんの。ほんとは90だよ」って。ユーモアがあるのも長生きの秘訣ですね。

◆6月8日 私はコレで・・・

指出しゲームをした。「親指！と言ったら親指を出して下さい。では、親指！」と、人差し指、中指までは順調にいった。薬指となったら、みんなモゾモゾしている。顔がゆがんだり、指が全部くっついたみたいになったり。「じゃあ、小指！」と言ったら、みんなスッと出た。左片麻痺の男性なんて、それまでとは違って勢いよく出たから、「コレで、いろいろあったんじゃないのお？私はコレで、会社を辞めましたのタイプ？」って言ったら、否定もせず、ニコニコ。そこは、否定するとこじゃないの？

◆6月9日 二人の会話

「わたしや、入院の時に嫌な目にあっただよ」とお年寄り同士お話をしているが、耳が遠いのでまったく会話が成立していない。「いいあんばいに来ただね」「8か月入院しただよ」「ちよっぴりすっぱかったけどね、うまい具合にできた」「よかったね」とこんな具合。内容をお二人に伝えようか迷っている間に、他の方が教えてあげていましたがね。

◆6月16日 若かりし頃のアイドル
70から90代の方に「若いころに流行っていた歌や、人気のあった芸能人って誰？」と聞いてみたら、全然そんなのに興味なさそうなTさんが「上原謙だよ！あの人は男前で」とニコニコ。「プロマイドも集めたよ」。他の方が「愛染かつらも流行ったよね」と言うと、Tさん「♪花も嵐も～♪」と大きな声で歌いだした。ほかの方も歌い大盛り上がり。

◆6月18日 生まれ変わったら男がいい？女がいい？って聞いてみた。「男がいい！だって、好きなことできるもん」「女は男の下で低くなっ



て、おとなしくしてなきゃいかんで男がいいさあ」「男はあっちこっちに女を作って、その始末が大変だに。あたしや女がいいねえ」。周りにいる男の人つまり旦那様のイメージでモノ言ってるら。さぞやご苦労されたのでしょうかね

6月21日 ピーナッツさん♪

月に1度の”ピーナッツさん”の歌の会。終りには、参加者から「次回にはこれを」とリクエスト。絶対に「できません、知りません」とは言わないピーナッツさん。必ず練習してきてくれます。

ピーナッツさんの歌の会は、無料でどなたでも参加いただけます。なつかしのメロディーをご一緒にどうぞ。第3火曜、13:30～14:30ここ倶楽部で。

◆6月25日 買った方が早いよ
おやつを作るのに牛乳も卵もない。「ここ倶楽部で牛とにわとりを飼わにゃあいかん」、そういつたら、昔は牛を飼ってた、にわとりを飼ってた、に始まり、うさぎはちょっと大きくして、砂山の肉屋に売りに行ったと言い出した。「にわとり飼ったって、1日1個くらいしかたまご産まんよ」「でも、大変だにねえ」。そのとおりっ！買ってきます…！

